

2020年に新たに生まれ変わった福岡歯科大学医科歯科総合病院。建物はもちろん、設備も最新鋭のものが充実しています。地域と社会、臨床と研究、医科と歯科、未来へと「つなぐ」大病院でありながら、地域の皆さまに寄りそうかかりつけ医的な医療センターを目指しています。



福岡歯科大学 医科歯科総合病院



診療科一覧

医科

- 内科・脳血管内科・循環器内科・腎臓内科・糖尿病内科
- 心療内科
- 外科・消化器外科・腫瘍外科・乳腺外科・肛門外科
- 内視鏡センター
- 形成外科・美容外科
- 耳鼻咽喉科
- 摂食嚥下・言語センター
- 眼科
- 小児科・神経小児科
- 整形外科・リハビリテーション科
- 皮膚科
- 麻酔科(ペインクリニック)
- 放射線診断科
- 病理診断科

歯科

- 総合歯科・口臭クリニック
- 高齢者歯科
- 訪問歯科センター
- 保存(むし歯)科
- 歯周病科
- 補綴(入れ歯)科・口腔顔面美容医療センター
- 口腔インプラント科・口腔インプラントセンター
- 口腔外科・スポーツ歯科・顎変形症センター
- 矯正歯科
- 小児歯科・小児口腔外傷センター
- 障害者歯科(スペシャルニーズ歯科)
- 歯科麻酔科
- 口腔放射線診断科
- 口腔病理診断科



高磁場3テスラ-MRI GE社製 SIGNA Architect

3テスラの高磁場MRI装置です。高い静磁場の安定性があり、1.5テスラ装置と比べて2倍の信号雑音比での撮影が可能となり、脂肪抑制法にも利点があります。脳、副鼻腔、咽喉頭、顎関節、唾液腺、舌、リンパ節、縦隔、肝、胆、膵、副腎、子宮、前立腺、脊椎、肩関節、股関節、膝関節、四肢末梢の関節など幅広い領域において微細な病変の描出能が向上しました。造影剤を用いない脳血管や頸動脈のMRアンギオグラフィやMRCPについても高精細な画像を提供できます。当院のMRIには検査中の動きを補正するプロペラ法と高速撮影法が実装されており、撮影中の動きがはげしい患者さんでもブレの少ない画像を容易に撮影でき、病変の描出能の向上に寄与しています。造影剤を用いたダイナミック撮影により、時間軸を取り入れた4次元撮像も可能で、形態情報と血流情報を同時に収集できます。



256列全身用CT GE社製 Revolution CT

最新のマルチスライスCT装置です。従来よりも優れたX線応答特性を有するフルデジタルガーネット検出器を搭載しているため、リアルタイムの線量計測、デュアルエネルギー撮影や低keV撮影、ヨードマップの作成が可能で、被ばく線量や造影剤投与量の低減が可能です。これらは繰り返しCT検査が必要な患者さんや腎機能低下のある患者さんの造影CT検査において利点となります。また1回転0.28秒の高速撮影による時間分解能と空間分解能の向上にも特徴があり、従来の消化器領域や呼吸器領域に加え、循環器領域の撮影にも威力を発揮します。

さらに、このCTは金属アーチファクトを低減するソフトウェアを実装しているため、歯科口腔領域や頭頸部領域では歯科補綴物によるアーチファクトが大きく低減され、整形外科領域でも人工関節術後のインプラント周囲の小さな骨折や緩みの検出に有効となります。アーチファクトの少ない鮮明な画像は病変の描出能と診断能の向上に直結しますので、最新のテクノロジーを応用した画像をぜひとも皆様の診療にお役立てください。

当院では、3.0テスラのMRIや256列全身用CT等の最新医療機器を導入し、医科・歯科を問わず、全身を対象として画像検査と報告書作成を行い、地域の医療を支え、大学病院として信頼される高度な医療を提供いたします。

高度な医療を提供する医療機器と画像診断

歯科用コーンビームCT

3D Accuitomo Type F14/F17

通常の単純X線検査では検討しにくい病変に対しても詳細な解剖学的情報を収集できる歯科用コーンビームCTです。1mmに満たない空間分解能をもつため、緻密な歯科診療への有用性が確認されています。当院ではブレの少ない撮影を心がけ、患者さんの放射線被ばく低減にも細心の注意を払って撮影を行っております。ぜひとも皆様の診療にお役立てください。



DXA(骨塩定量解析)

新たに導入した高精度かつ再現性が高い骨塩定量装置で、DXA法(二重エネルギーX線吸収法)を用いてカルシウム代謝を反映した骨密度を測定します。高齢化社会の直中にある日本において、骨粗鬆症患者は1,000万人を超えともいわれますが、この検査は骨折を予防し、寝たきり状態の発生をおさえ、健康寿命を延ばすために重要と考えられています。福岡県における本検査の利用状況は全国平均と比較して低く、検査受診率も3%程度にとどまっています。さらなる健康長寿社会実現のために、ぜひこの骨塩定量解析を皆様の診療へご活用ください。

診療科長より

口腔放射線診断科 香川 豊宏 教授

新病院になり、各診断機器が最新の機器に刷新されました。これにより飛躍的に診断能が向上いたしました。院内からの検査に加えて、地域病院、診療所からの検査依頼も積極的にお受けいたしております。ご依頼いただいた検査データにはすべて専門医が記載した診断レポートをお付けしております。どうぞお気軽にお問い合わせください。



放射線診断科 川波 哲 教授

令和3年4月より着任いたしました。専門は放射線診断学です。九州大学、産業医科大学、浜の町病院、小倉医療センター、新日鉄八幡記念病院などで年間1万件を超える画像診断を27年間、熟して参りました。病診連携の仕組みを生かし、便利な検査、迅速な報告書作成を心がけますので、歯科口腔領域以外の画像診断においても、医科歯科総合病院の最新医療機器をご利用いただき、皆様の診療のお役に立てるように祈念しております。



診療科長より

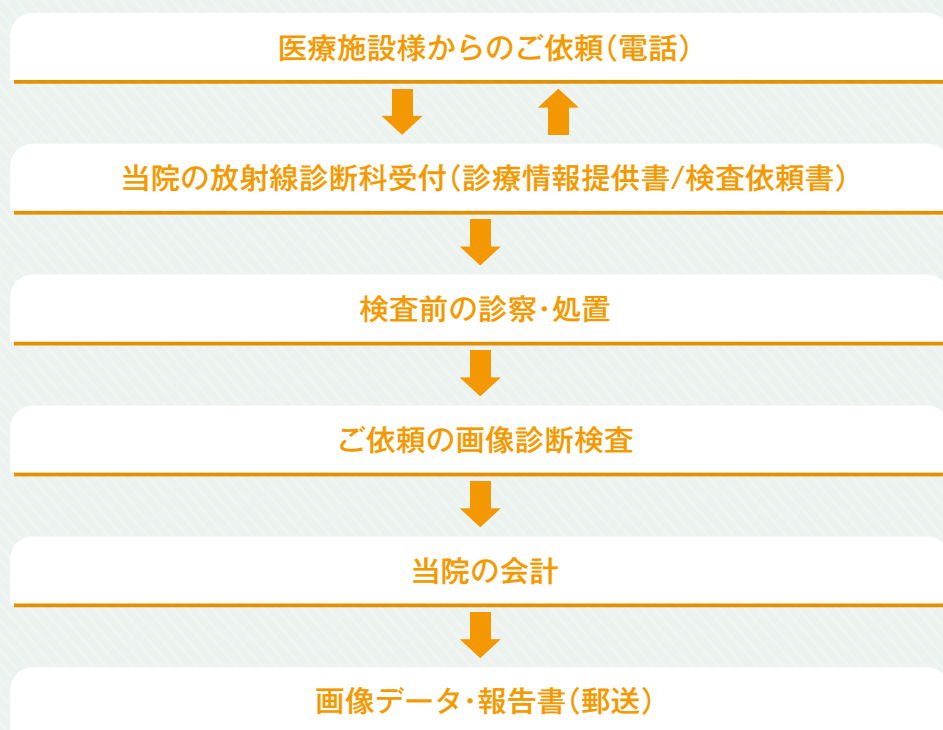
病診連携のご案内

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、地域開業医院あるいは病院と病診連携を推進しており、ご紹介いただいた患者さんの診療、専門性の高い疾患の診断や治療のご相談、病院が備えている医療・検査機器のご利用のほか、各種医療サービスの提供を積極的に行っております。

患者さんのご紹介に関するお問い合わせや紹介状の送付依頼など、詳しくは病診連携室までご連絡ください。

お問合せ **092-801-0466** (病診連携室 直通)

画像診断機器のご利用について



※画像診断機器のご利用について、患者さんから直接のご予約はいたっておりません。
詳しくは福岡歯科大学医科歯科総合病院ホームページをご確認ください。
画像診断機器に関するお問合せは092-801-0411(代)より放射線診断科へご連絡ください。



近隣クリニックから!

医療法人いしいかおり小児歯科 石井 香 院長

小児を中心に開業医では対応が難しい患者さんを小児歯科、口腔外科、矯正歯科などにご紹介させていただいております。また、日ごろの診療の中でお子さんの発達障害についての相談も多く、小児神経専門医のいる小児科をご紹介することもあります。時には付き添いの家族の大学病院相談窓口として口腔外科、保存科、補綴科などにもご紹介します。また、小さい頃から口腔管理をしていた障がい児が成人し、小児歯科ではフォローが難しくなった場合など、障がい者歯科にバトンタッチさせていただくこともあります。そのほか、地域の先生の大学病院への橋渡しなどにも積極的にかかわっております。

今まで多くの患者さんをご紹介させていただきましたが、大学病院の先生方の対応も素晴らしく、患者さんの満足度もとても高い印象です。また、依頼した患者さんの処置が終了した後、速やかに戻していただき、大学病院と連携して予後管理ができるのも魅力の一つです。

